

寺報

龍正寺

日なた 158号



令和3年度龍正寺門前にて

<令和 3年 7月>

宝龍会
護持会

任職一言 御遺文より

御盃を迎える時期に存りました。当山では7月11日(日)に御盃施餼鬼法要をいたします。

御施餼鬼法要には、各家の御先祖様・父母・祖父母・並に永子の塔婆供養をいたします。

日蓮大聖人御遺文

「中興入道御消息文」

『丈六の率堵婆を立てて其面に南無妙法蓮華經の七字を顯はしておはしませば、北風吹けば、南海の魚族其風に當りて大海の苦を離れ、東風吹けば、西山の鳥鹿其風を身にふれて畜生道を脱れて、都率の内院に生れん、況や彼の率堵婆に隨喜をなし、手をふれ、眼に見まゐらせ候人類をや過去の父母彼の率堵婆の功德によりて天の日月の如く、淨土をてらし、孝養の人並びに妻子は、現世には壽を百二十年持して、後生には父母とともに靈山淨土にまゐり給はん事、永澄めば月うつり、鼓を打てばムギきのあるがごとしとおぼしめし候へ。』

(解説) 一丈六尺の大率塔婆を造り、その表面に南無妙法

蓮華經の七字を書いて建立したが、この率塔婆に北風が吹けば、南の海の魚類がその妙法七字の風に吹かれて大海の苦惱から離脱し、東風が吹く時は、西の山に栖む鳥や鹿が、その風を身にふれることによって畜生道を脱れて、都率天の内院即ち天上界に生れることが出来るのである。ましてその率塔婆を直接に見て喜んで手にふれ、眼に見る人達は計り知れない功徳を得ることが出来るのである。

之き靈位も彼の率塔婆を建てられた功徳によって、天の日や月のように浄土を照らすことが出来る。またこの追善を行って孝養をつくる人やその妻子は、現世には百二十年の長壽を保ち、後生には、追善の功徳に依って墮獄の亡父を救い疑いなく父母と一緒に靈山浄土に住居することが出来るのである。

例へば水が澄めば月影が映り鼓を打つと響のあるように塔婆を建て追善供養の功徳は現世は安穩に、後世はぜんぶにいたらしめるものであるということを確認されるがよい。

日蓮大聖人は御遺文に説かれてます。教えにしたいがい塔婆

建立し御先祖様の御供養をいたしましょう

南無妙法蓮華經

合掌

「青春のいこい荘」

息子の高校入学から早いもので3ヶ月が過ぎた...
あれほど嫌がっていた野球部の坊主頭も見慣れず来ると
中々とサマになつてきたおれである...
伸び盛りの息子の栄養を考えながら買い出しに行き
品定めをしていると「おるで主婦だねあ〜」と思いつつも
私は満更嫌ひでもなく気分が高揚する。
昨日も息子が「お身長が伸びたよ」と言ってくれは
私も小気味がいいポーズをしてみよう...

息子が入学した高校の近隣に... 私が愛知県に来た時、
27年前に借りていた木造アパートの跡地がある...
数年前に火事になったおれで、今は駐車場に変わった。
先週に学校参観日があり、その帰り道に立ち寄った。
そのアパートは「いこい荘」と名前が6畳1間の風呂無しで
家賃は2万円であった...
名古屋市に居た時に当時の空手の先生の紹介で、愛知県に
26才で移住したのが始りであり... 築50年は経っていきなり
ボロボロのアパートでした...
当時の私はそこを根城に空手の道場で朝から夕方まで稽古と
子供向けの指導が主で、その合間をおろアパートを以
て生計を立てていました...
アルバイトは深夜の風呂屋の掃除とスポーツジムのインストラクター
の両立で... しかし数時間しか働けずにひと月に8万円しか
給与がなく経済的に一番辛い時でもあった...

インスタラーメンを割り粉を半分入れて 朝と晩で食し。
50円のコーゲを買うのに 店前をウロウロして悩んでいたり...
毎日の数時間の激しい空手の稽古と金欠による空腹さで
朦朧として人の頭がカツ丼に見えたり時々あった...
自分で選らんだ道とはいえ、空腹や肉体的な苦痛から
精神的に悩む時々あった。
当時の私にとってはこの空手の道こそが人生を楽園に導いて
くれるものと信じていた...

そんな中... アバ外光のスポーツジムでの会員さんの紹介で
龍正寺と佐口上人との御縁を繋ぎました。
その後... 空手道場の経営の事から先生と探めて退会して
数年後に八百屋の会社を興したのだけれど20年目を機に
昨年に廃業に至った...
あれだけ燃え尽いた空手家としても、八百屋としても終わり
今では佐口上人と仏様の御縁だけが残った...
人生は何があるか? 判り計れないものだと感じています。

息子が合格してくれた高校が私の愛知県での原点
である「いこ荘」の近隣にある事も不思議な巡り合せの
おりにも思えますね...

「あれから27年経つのかあ」と
更地になった「いこ荘」を見ながら
感慨深い気持ちになる...

南無妙法蓮華經

「変化しないを選ばない」

新型コロナで生活や意識がだいぶかわりました。
開運チャレンジの文字に目を向けると、今年はこれから
さらに変化の波が加速、変化の波に乗るコツ
は変化し続けることだけ!!

「現状維持」「変化しない」という選択肢は
ありません。どんなに抵抗しても、変化せざるを得ないのです。自らの意志で変化していくか、それとも時代の波に飲み込まれ、無理やり変化させられるか。

本当にそうだなあと日々感じています。

仕事の出向先で若い子が違う道に進むため学生になるという話を聞き、今私は、再度勉強が必要なんだろうと感じる事ができました。

そんな中、テレビの「本質を知る」の言葉が気になり、日々起る出来事の中で今年は変化+本質を知っていかないといいた方がいいのではと思うようになりました。

どうしてそのように思ったのかというと、落語の方と映画監督との対談で「本質を知ると感謝

ができる」の言葉に、心を奪われる位すごいと思い、
そのお話を お上人に伝えました。

お上人より、「本質を知る出来事が起る。失敗しても
前に進めなさい」と言われました。

手を合わせている事で、日々起る出来事に対して
自分の受けとめ方・物の見方が少しずつ変わって
きています。本質を知っていくということは
こういうことなのかと思いつながら、この先、何が
起るか予測は出来ませんが、起る出来事に
答えがあると確信し、進んでいます。

変化を楽しんで!!

「菩提心を発する人は多けれども
退せずして実の道に入る者は少し」

日蓮大聖人は、「様々なきっかけでお題目を唱え始める者は多いけれども、心離れず信心を育み仏様の教えの真骨髄であるお題目信仰の生き方を歩む者は少ない」と松野予展院御返事に書かれている。

人は必ず逆境を経験する。自分もつらい経験をし、精神を病みそうになった。

お題目を唱えるも心を離れずして信心をしてきたかといえは、紆余曲折があった。

酷い時は、「や、てられっかー」と怒りで経本を投げつけた。この10年の間も心がゆれ重かっていた。

自分の中の我を出し、次第にお題目を唱えるべし・信じる心が出てきていると思うが、ただ目の前に起る事象に一喜一憂してしまうのも人間としての性(さが)で... そのほ°を向きそうになってしまう事もありました。

本当にお題目信仰の生き方を歩む者は少ないとはこのことだなぁと感じました。

私は、子供頃から日蓮宗のお経を聞いていました。
父方のご先祖の墓は山梨県の身延山からそれ程
離れていない場所であり、私が母のお腹に
いる時も、大阪の日蓮宗のお坊さんに見ていた
だいた御縁があり、不思議な縁で繋がって
いましたので、日蓮宗の信仰をやめるという選択肢
は、ありませんでした。

自分の家の為、自分の幸せの為に奮闘していこうと
びに決め日々、やってきました。

お上人より、日々の中で生き方を教わっている所で
お題目信仰の生き方を歩めるよう日々精神していきます。

「晩秋の駅」

都はるみさんの「晩秋の駅」という歌の中より
親子の情愛が唄われています

1 息子が 僕がえらんた人だよとかおさんに
紹介とすのです 母は命をけずた 私の室の子と
よろこびます。 彼女に...すべてあなたに托します
この息子のことをよろしくと 2人が握る 手と手に
涙がホッホッ... 晩秋の駅...

2 嫁に出した娘が 花のくらしにつまづいて
ごめんなさいと 泣きじゃくる... 男親など何も
かにやなれぬが よくよくたろう帰るとはと娘を
心配する父親のようです 娘の肩を抱くだけで
精一杯のようです 父と娘の晩秋の駅...

3 子供たちは親を追い越して それぞれに
旅立ってゆくのです 身体ばかりか夢までも...
老いてゆく親は 2人きりになんてゆくようです
淋しいの中で あなた お前と 寄り添って 労わり合え
夫婦最後の晩秋の駅...

No. _____ Date _____
いつの時も親は 小が子のことと...あれこれと
心配を致すようにございます

子供たちは子供たちの人生の中であれも、これも
夢を追い求めたり 失敗したりの人生の道と歩いて
ゆくようです かなんな時は親の心配もうろさいたげの
ことと想ってみます

親は無性の愛で子供のことと想ってみますが
若き故に届かぬようです

「うきうき 心に添わぬこと多かほど
良きに悟りてよろこびを得よと」学びます

どんなこともよろこびたく思ってみますが むかし存じます
いろんなことがあ子中で 喜怒哀楽の心を
大事に致しながら わが丁実を残してゆくたらし
存じます

晩秋の馬見 大スキな歌でした 若い頃はよく
カラオケで唄っては涙を流しました

今はお題を大事に大切に申し上げまして 幸せに
よろこびの涙を流します よろこびの自々に代わり

有難く勿体なく御礼申します

合掌

南無妙法蓮華経

— 事故から学んだ事 —

先日、千葉県で起きたトラック事故。皆さんご存知でしょうか？

東京都内で鉄筋材を運び、千葉の工場へ帰る途中、飲酒をし、小学生の下校の列につっ込んで、男児2人の命が奪われてしまいました…。

「行ってらっしゃい!!」と見送ったのが最後になるなんて、同じ年代の子どもをもつ親としては本当に悲しい事故でした。

今の世の中、私達は車と共に生活していると言っても過言ではありません。ガソリンの油断や焦り、これくらいなら大丈夫か…と勝手に慣れたことが、とんでもない結果を引き起こす事を今一度心にきざみました。

仏教の教えを表す「因果応報」という言葉が頭をよぎりました。善いも悪いも自分が受ける結果のすべては、自分が作っているという教えです。

事故直後、警察には「(見童以外の)人が右側から出てきたのでハンドルを左に切ったら電柱に当たった」と話したそうですが、当時見童の他に人影は見当たらずにこのこと。飲酒が原因の見間違っていたのかもかもしれません。

さすがに飲酒はしないにせよ、脇見をしたり、携帯が気になってしまったり、同乗者との話に夢中になったりと、悪い結果を生む原因となる行いを少なからずしているかもしれません。

悪い結果だけでなく、善い結果も善い行いの積み重ねが原因となっています。悪い行いを認め、少しでも善い行いに変える努力ができれば、お釈迦様の教えに少し近づくことができるのでは無いでしょうか？

日々精進ですね!!

～ 失敗から多くを学ぶ ～

6月 日蓮宗カレンダー

「人の地に倒れて還て地に從りて起つが如し」

(日蓮聖人御遺文大田入道殿御返事)

※ 聖語解説には・失敗は成功の母・失敗から多くを多くを学ぶ、人は成長していく。

私の仕事先にも「失敗は宝」と貼り紙がされています。

まるで合言葉のようになっています。

しかし、何事もなく日々を穏やかに過せる事を願っています。失敗はさけて通りたいと思うのも当然です。

我が人生を振り返ると、失敗の連続でした。

失敗するたびに、不安・自暴自棄になりました。時にはその重荷から逃れたいと自己防衛に走り、他人におしついたり、他人のせいしたりと…今思うとなんと未熟だったと恥じるばかりです。

今は「失敗」を経験する事で自己覚知する事ができる!!

自らを見つめ、改めて行く事で、新しい自分自身になれる!!

介護訪問先で、御利用者様が、「病気をして大変だったけど…」

そのおかげで、今までに無い数々の経験をさせてもらった。

人の出会ったたり、人の優しさを強く感じる事もできた。

自分の不足な部分に気がつき、改めて見直す事も出来た。

病気になるなかつたよ、もと傲慢で人の心を感じる事もなく、つまらない人生を過ごしたと思うよ。」

その方は末期癌の方ですが、ベットでこの話しをされました。そして、「今、人生の中で一番心穏やかに、一日一日が楽しいよ。至福の時だよ。」と笑顔で言われました。

失敗の中から得られる経験は、大きな喜び、偉せにつながります。

失敗や苦難のたび、大きなチャンスを受けていると思います。

失敗や苦難を恐れず、このチャンスを宝にして大切にしたいと思いました。

< 7月の行事予定 >

7月11日(日) 13:30~ { 宗祖日蓮大聖人報恩会
盂蘭盆施餓鬼大法要
大古久尊天祈願会

18日(日) 10:00~ 鬼子女尊神
七面大明神) 祈禱会

< 7月住職の予定 >

寺 踪 に て 法 務

< 7月の予定 >

7月1日(木)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
9日(金)		
10日(土)	10:00~	飾り付け
11日(日)	法要後	片付け、準備
12日(月)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
17日(土)		